

# やいはば

議会だより

190  
2014.10.16



楽しく踊るタケルンジャーダンス  
(不動保育園)

## 決算審査特別委員会 平成25年度決算 どう使われた みんなのお金… 2

議会で決めたこと  
旧矢市中グラウンド 屋外運動場として照明設備と一体管理 … 11

議会で決めたこと  
みなさんからの請願・陳情…………… 12

一般質問 町政を問う  
脳卒中予防で健康寿命延伸を 一般質問9議員…………… 15

# 平成25年度一般会計 どう使われた みんなのお金

# 被害が大きかった 豪雨災害

定例会9月会議は9月2日から9月18日まで開催され、25年度の決算を中心に条例案や補正予算、人事案件等を審議しました。

決算は、決算審査特別委員会を設置して審査され、本会議においてすべての会計で可決されました。

## 歳入

町の主要事業を行う一般会計決算の歳入は、前年度比8.0%増で約112億3662万円となりました。

その内訳を前年度と比較すると、災害復旧費国庫負担金の増などにより国庫支出金が

増加し、土地売却収入などにより財産収入も増加しました。一方依存財源の大きな割合を占める地方交付税・町債などは減少し、財政調整基金からの繰入などによる補てんが継続されました。



復旧工事中の山王茶屋前橋

## 歳出

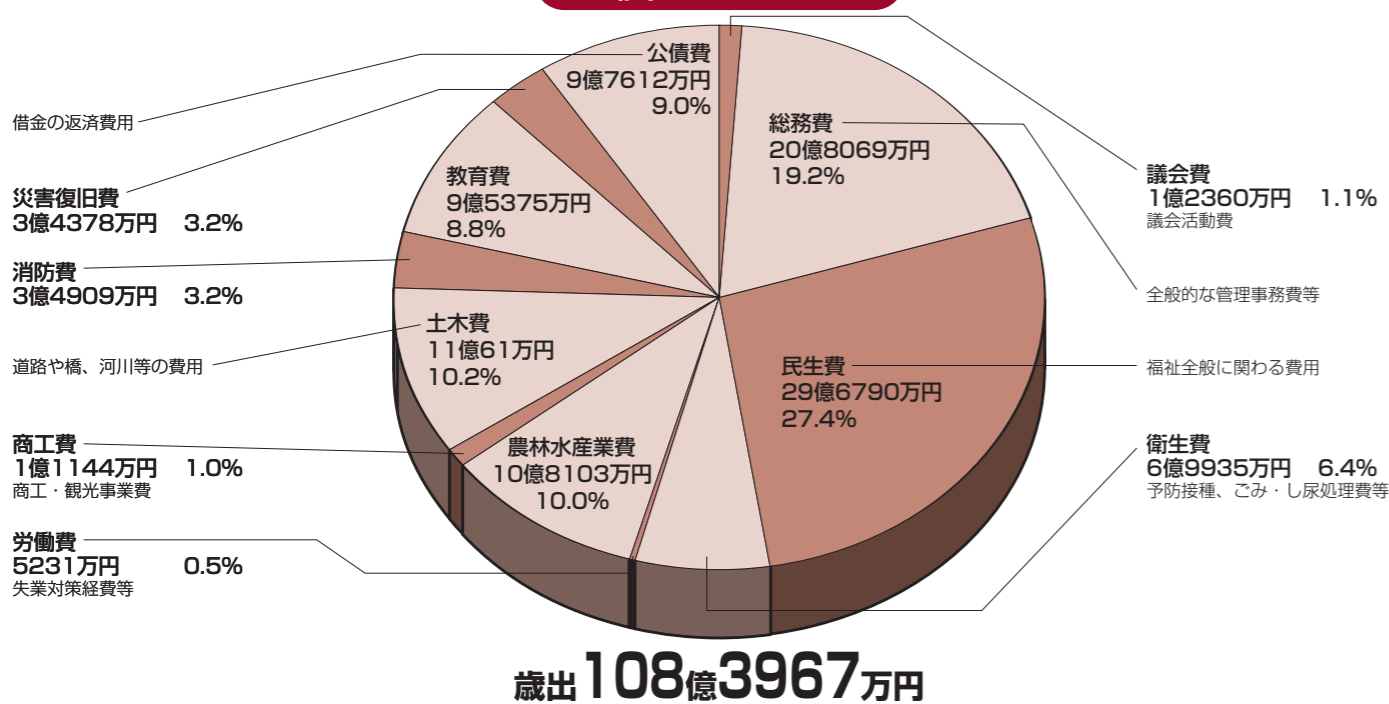
歳出は前年度比9.2%増で約108億3967万円となりました。

その内訳を前年度と比較すると、消防費・教育費・公債費などは減少したものの、総務費・農林水産業費・災害復旧費などは増加しました。

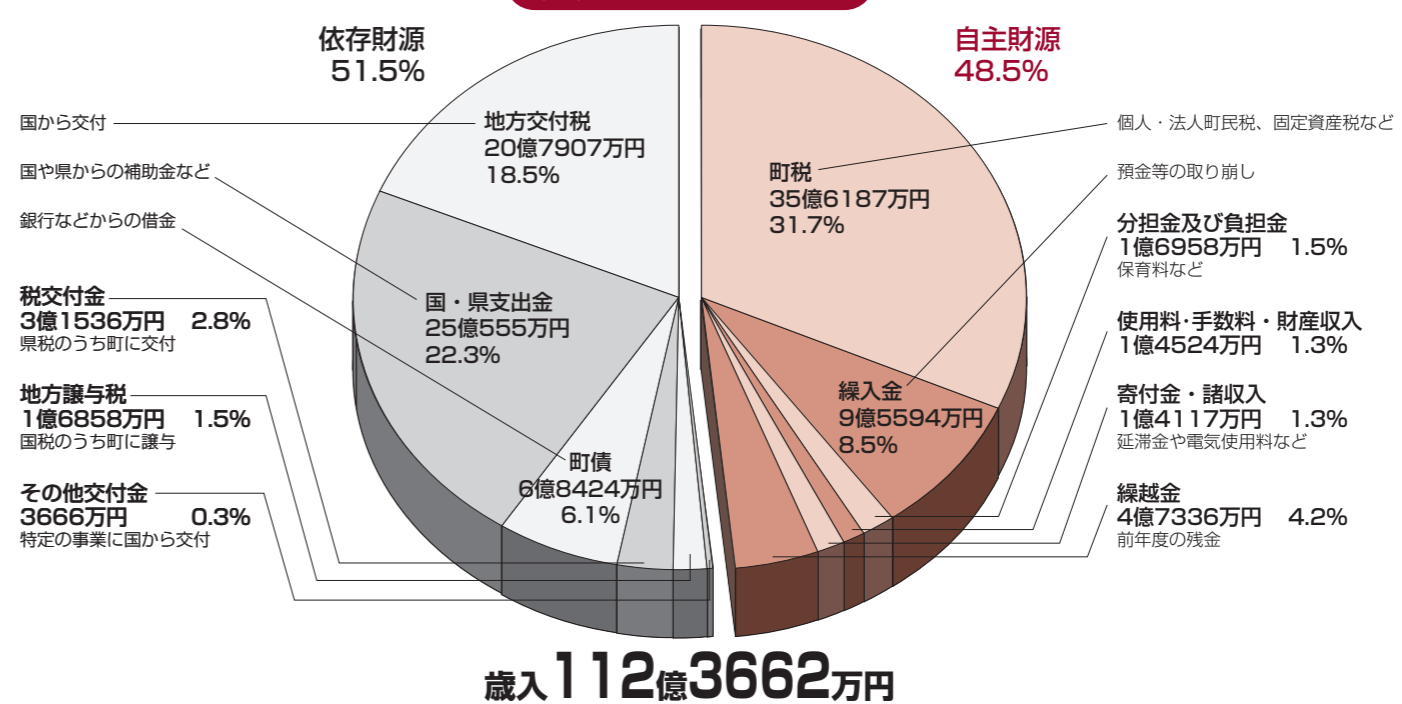
農林水産業費では、平成24年度からの繰越分であった不

特別会計・企業会計については、次ページのとおりです。

## 使ったお金

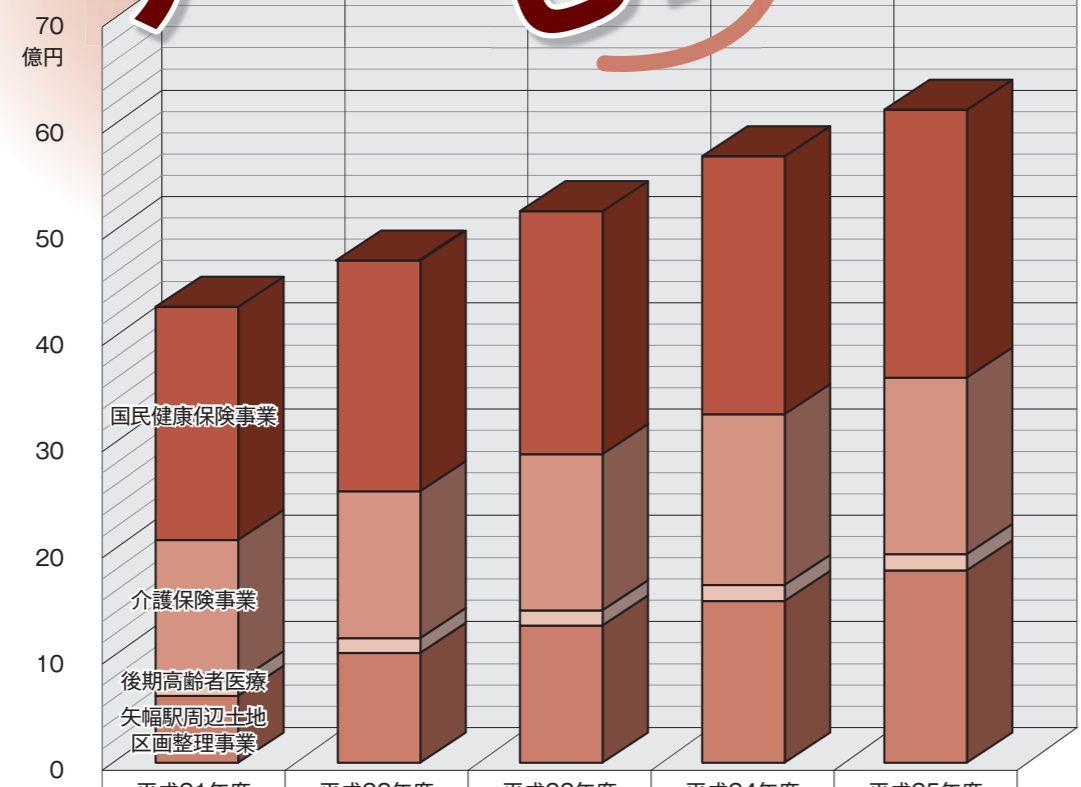


## 入ってきたお金



# アップUPの特別会計

## 決算額（歳出）の推移



	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
■ 国民健康保険事業	22億1006万円	21億8550万円	23億 328万円	24億4482万円	25億3896万円
■ 介護保険事業	13億3937万円	13億9335万円	14億8125万円	16億1921万円	16億7377万円
■ 後期高齢者医療	1億3902万円	1億4048万円	1億4383万円	1億5222万円	1億5431万円
■ 矢幅駅周辺土地区画整理事業	6億3389万円	10億4110万円	13億 89万円	15億3354万円	18億2395万円

## 平成25年度決算 特別会計…年々かさむ医療費・介護費

### 国民健康保険事業特別会計

歳入 26億8020万円 ▲前年度比 3.9%増

歳出 25億3896万円 ▲前年度比 3.9%増

国保加入者への医療費や出産育児一時金給付等に使われました。  
被保険者(5743人) 1人当たり **44万2096円**

### 介護保険事業特別会計

歳入 17億2332万円 ▲前年度比 3.6%増

歳出 16億7377万円 ▲前年度比 3.4%増

65歳以上の方等への介護サービス給付費や介護予防事業に使われました。  
被保険者(5850人) 1人当たり **28万6114円**

### 後期高齢者医療特別会計

歳入 1億5621万円 ▲前年度比 1.2%増

歳出 1億5431万円 ▲前年度比 1.4%増

75歳以上の方等の入院時の食事代や高額療養費等に使われました。  
被保険者(2841人) 1人当たり **5万4315円**

### 矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計

歳入 19億5476万円 ▲前年度比 25.4%増

歳出 18億2395万円 ▲前年度比 18.9%増

矢幅駅西地区、駅前地区の整備事業に使われました。  
町民(2万6770人) 1人当たり **6万8134円**

※1人当たりの金額は、平成25年度末現在の人数から算出しました。

## 企業会計…汚水処理普及率県下第2位(94.4%)

### 水道事業会計

収益的収入	収入	6億2501万円
および支出	支出	4億9063万円
資本的収入	収入	3086万円
および支出	支出	5億5573万円

### 下水道事業会計

【公共下水道】

収益的収入	収入	5億7001万円
および支出	支出	6億 754万円
資本的収入	収入	4億4761万円
および支出	支出	7億1938万円
【農業集落排水】		
収益的収入	収入	3億1089万円
および支出	支出	4億1955万円
資本的収入	収入	6801万円
および支出	支出	2億7485万円

水道・下水道事業会計は、複式簿記によって会計処理を行う企業会計だから、表記の方法が異なるジャ。

### 監査意見

平成25年度は、第6次矢巾町総合計画（後期基本計画）の3年度目に当たるが、厳しい経済情勢の中、計画に沿って事業が実施された。決算状況は、一般会計と4特別会計の実質収支が4億8262万円余で前年に比べ減となったが、すべての会計において黒字であり、概ね健全な財政運営が確保された。多くの税目で現年分収納率99%以上となり、全体で微増となった。職員の不断の努力の成果に敬意を表す。

水道事業は、有収率は前年度より減少したが、依然年鑑指標を大幅に上回っている。当期純利益は前年度より減となったが1億2529万円余が計上され、財政状態は良好と認められる。下水道事業は平成25年度から企業会計方式に移行した。その結果、1億5840万円余の欠損金の計上となったことから、今回明らかになった経営状況を基に内容が改善されるよう、経営の健全化に努められた。

立花純幸委員  
秋篠忠夫委員



立花純幸委員・秋篠忠夫委員

# 質疑



# 白熱

決算審査は、議長を除く17人の委員で構成された特別委員会（米倉清志委員長、山崎道夫副委員長）を設置して審議しました。

## 一般会計

### 財政

**川村(よ)** 法人住民税が対前年度比で16・9%減となっているが、その要因は何か。

**税務課長** 前年度は震災需要などで大幅な伸びがあったが、25年度は通常に戻り、前年度に比べ減となった。

**廣田** 町税において特に法人税の補正額が大きいのが、適正な予算計上の点からも問題ではないか。

**税務課長** 法人税は1年遅れで入るので、企業の業績を把握するのは大変難しく、動向を見ながら予算を確保できるように計上している。



防火・防災に向けたゆめめ訓練

### 総務・防災

**藤原(梅)** ふるさと納税を増やすために、町産品をお礼品としてPRしてはどうか。

**企画財政課長** 趣旨に沿った物品を贈呈するなど、要綱を定めPRに努める。

**谷上** 町の古いマイクロバスは更新時期にきているのではないかと。更新時期はいつまでか。

**総務課長** 省エネや環境を守る観点からも更新時期を検討したい。

**昆** 防災の業務が増えており、安全・安心のため単独の防災課を設置してはどうか。

**総務課長** 防災について住民に関心を持ってもらう事が必要であり、防災課設置は検討していく。

**齊藤** 空き家を人口減少対策として、移住者や若者が利用できるよう登録し、活用できないか。

**総務課長** 空き家などのくらいあるか区長を通じ調査し、結果次第では条例制定まで進めることも検討したい。

**藤原(梅)** 防災マップは見直しするとしているが、いつまでに作成するのか。また岩手山噴火への対応は。

**総務課長** 1月末から2月までに作成し、配布する予定である。噴火への対応は、県と連携していく。

**村松(輝)** 公共施設(建物)の老朽化対応は。

**企画財政課長** 国よりインフラ寿命化計画を求められており、組織的に策定に向けて動いていく。

### 産業・建設

**村松(信)** 松くい虫被害が増加傾向にあるが対策は。

**農林課長** 伐採や薬剤散布・くん蒸を行っている。個人の樹幹注入は費用の半額を補助している。

**川村(農)** 産業まつりで出店者の駐車場として、旧矢中中跡地を利用できないか。

**住民課長** 出店者用として利用の検討を行う。

**藤原(由)** 農林関係基金について、新たな運用を図ることを検討してはどうか。

**農林課長** 貴重な提言として受け止めたい。

**山崎** 本年の県産米の概算金が8400円で過去最低となった。当面の資金繰りなどについて、支援策を検討するべきと考えるがどうか。

**町長** 生産者の資金繰り・意欲の減退にならないような支援策を講じる。

**小川** 古い町営住宅の改築の予定はどのようになるのか。

**道路都市課長** 242戸のうち、三堤・森が丘・明堂は長寿命化を目指す。他の102戸は修繕で対応し、使用不能になったら建て替えは行わず廃止とする。

**藤原(梅)** 農地中間管理機構の事業で、当町の農地集約の現状と補助金の動向は。

**農林課長** 受け手の登録は7経営体で、面積262ヘクタールとなっている。うち町内は2組織が申請済みである。補助金は優先順位をつけず交付するよう要望していく。

**昆** 北前野住宅跡地をグラウンドとして整備したが、砂利が多く使いづらい。

**総務課長** 地元の見聞きながら対応していく。



移転オープンでにぎわう産直さんさ市(矢次地区)

産業まつりの人気イベント 一升餅歩行大会

# 町の家計簿厳しくチエツク

## 福祉・環境

**昆** 子ども・子育て会議の日程を公表できないか。  
**住民課長** 今年度は10月、3月の2回の開催を予定しており、ホームページでの公表を検討する。

**小川** 小学生までの医療費の完全無料補助に必要な額は。また、中学生ではいくらか。  
**住民課長** 小学生までは約7300万円、中学生は15500万円程度である。

**川村(農)** 災害時に小規模な介護施設の要介護者が避難場所として利用できるよう、大規模施設と協定を結ばないか。  
**生きがい推進課長** 福祉避難所について関係者と打ち合わせ中であり、今年度中に定めたい。

**山崎** 矢中斎苑の休憩室と遺族控え室が大変狭い。特に遺族控え室はプライバシーを守る観点からも増築し、間仕切りを行うべきである。  
**住民課長** 遺族控え室の間仕切りは考えるが、増築については、次期総合計画の中で検討していきたい。

**高橋** 保養センターの寝具を羽毛布団に替えるべきではないか。  
**生きがい推進課長** 羽毛布団に替えているが、使わない期間が長かったので乾燥してから使いたい。

**川村(よ)** 公民館型デイサービス事業は、資金的に厳しいのか。  
**生きがい推進課長** 資金不足は聞いていないが、行政のみでは対応しきれなく、地域の協力が必要である。

## 特別会計

**藤原(田)** 医療費がここ数年増加しているが、今後どのように健全化を図っていく考えなのか。  
**住民課長** 毎年1億円程度増える状況であり、早期発見・早期治療と生活習慣病対策を継続して行っていく。

**山崎** 死因のトップである、がんの検診率を上げる事が必要と思われるが、インパクトのある取り組みを行うべきではないか。  
**住民課長** 広報紙などいろいろな手段で受診を呼びかけているが、今後効果のある方法を考え、PRに力を入れたい。



がん予防に活躍する検診車

## 教育・文化

**川村(農)** 徳丹城を現代とのつながりをストーリーにして、町民にPRできないか。



公民館型デイサービス (矢巾1区ふれあいサロン)

**社会教育課長** 日本史を知る上で重要な史跡であり、調査でわかった成果を活用していきたい。  
**昆** 認定こども園が設置されたがその効果は。学務課長 時間が経ってなく周知は薄いですが、保育園と幼稚園の良い点を取り入れられることを期待している。

**村松(信)** 全国学力テストの結果の公表と、矢巾町の生徒のレベルは。  
**教育長** 矢巾町では結果の公表はしないが、小・中学校とも相対的には全国レベルより上である。

**村松(輝)** 町体育館・田園ホールなどに洋式トイレを増やしては。  
**企画財政課長** さまざまな要望があるが、総合的に勘案し計画する。

**藤原(梅)** 総合グラウンド(煙山ダム)のトイレの改修を。  
**社会教育課長** 次期総合計画で考える。

## 水道・下水道 企業会計

**昆** 地域密着型介護費が増えた理由と今後の推移は。  
**生きがい推進課長** ケアセンター・南島が開設となり、利用者が増えたため。今後の施設等の開所は予定されていない。  
**高橋** JAシンセラの葬祭センターを、JAのスタンド付近に移転するよう交渉できないか。  
**区画整理課長** 葬祭センターを休業しないで建て替えるため、敷地内に移転を予定しているという。

**山崎** 水道の水圧の強弱の判断はどのように行っているのか。また、弱いと判断した場合その改善策は。  
**上下水道課長** 水圧について最低基準はあるが、地域的に水圧が弱いと思われる所は配



多彩なアイデアの上下水道課ホームページ

管の増径更新を計画し、改善を図っている。  
**昆** 水道事業はいろいろなアイデアや取り組みがなされているが、他の課にもそのような取り組みを浸透させるようにしてはどうか。  
**町長** 水道事業は長い歴史があり、研修にも積極的に参加

しており、町長部局においても、水道事業のような取り組みができるようにしたい。  
**齊藤** 下水処理率は盛岡市に次いで高いが、今後の事業は。  
**上下水道課長** 下水道管25キロメートルの整備と家屋との接続、浄化槽の普及を行っていく。

# 審査報告

決算審査特別委員会委員長 米倉 清志

## 雇用環境の整備で定住促進を

平成25年度の一般会計の歳入は、対前年度比8.0%増の112億3662万円余となった。  
歳出は、農林水産業費の不  
動ライセンサー補助金ほか  
で4億879万円余、大雨災  
害等の事業もあり、9.2%増  
の108億3967万円余と  
なった。

不動保育園、北高田保育園  
整備費や乳幼児等に対する医  
療費助成、認定子ども園の整  
備等は、子育て支援や少子  
化対策につながる事業である。  
今後、若者の定住を図るた  
め雇用環境の整備につなげる  
方策を検討されたい。  
災害に強い町づくりに向け、  
多くの行政区に自主防災組織  
が作られ、地域防災能力が向  
上してきており、安全で安心



議長に審査報告書を提出する正・副委員長

な町づくりに大きな効果が表  
れてきている。  
国保会計の歳出は、医療費  
の抑制が大きな課題となつて  
いるが、被保険者の意識改革  
運動を進めると共に、将来の  
国保制度のあり方に向けた抜  
本的な対策が望まれる。

川村 よし子  
本町の子ども医療費助成  
は県内で下位のランクにあり、  
早急の対応が必要である。  
また、国保税は一人当たり  
9万円余であり大きな負担と  
なっていることから、法定外  
繰り入れをして下げるべき。  
本町の職員は過去10年間で  
28人減り、サービスの低下な  
どにつながるため反対する。

## 子ども医療費助成拡充を

川村 よし子

## 定住促進を期待する

村松 輝夫  
昨年の大雨災害に対し、国  
への働きかけで3億8000  
万円の補助金を得ることで順  
調に事業が進行している。  
保育園の整備や乳幼児医療  
費助成等保育整備が図られ、  
本町は産み育てやすい町とし  
て若い人の定住促進が図られ  
ることを期待し賛成する。

# 反対

## 複合施設建設の見直しを

小川 文子  
複合施設は12年前からの計  
画であり、リーマンショック、  
東日本大震災、大雨洪水被害  
そして本町の人口計画が大き  
く下がるなど経済、社会情勢  
変化を受けた見直しが必要。  
特に駐車場が狭い問題は解  
決しておらず、年間維持費1  
億円の負担も大きいことから  
反対する。

# 賛成

## 子育て支援事業を評価

谷上 哲  
矢幅駅周辺区画整理事業な  
どのインフラ整備が図られ、  
不動ライセンサーも整備さ  
れ生産効率が高まった。  
不動、北高田保育園の整備  
や乳幼児に対する医療費助成  
認定子ども園の整備事業など  
は子育て支援、人口増加につ  
ながる事業であり賛成する。

# 討論

## 条例

### 矢中町屋外運動場設置 および管理条例

旧矢中中学校校運動場と屋外  
運動場照明設備を一体とした  
社会体育施設として管理する  
こととし、新たな使用料も定  
められました。

### 【主な質疑】

**質問** 現在の使用料について  
も高いとの声があり、この料  
金設定は問題があると思う。  
検討にもう少し時間をかけて  
はどうか。

**答弁** 他の社会体育施設であ  
る総合グラウンドと比べ安い  
金額となっている。

# 旧矢中中グラウンド 屋外運動場として 照明設備と一体管理

**質問** 県民体育大会以上の大  
会に出場するための練習は減  
免対象になるとのことだが、  
さまざまな県大会、東北大会  
等は対象になるのか。

**答弁** 出場権を得て町の代表  
として出場するということでは、



トイレと水飲み場が整備された屋外運動場

県民体育大会以上に進んだ場  
合と考えている。それに相当  
するので、その内容を受け検討  
していく。

**質問** 町体育協会に登録され  
ている団体がさまざまあり、  
この方たちの利用が多いと思  
われるが、今後減免の対象と  
するべきでは。

**答弁** 今後検討していく。

### 子育て関連3条例

子どもたちが心身ともに健  
やかに育成されることを目指  
し、特定教育・保育施設およ  
び特定地域型保育事業、家庭  
的保育事業等、放課後児童健  
全育成事業の各事業における  
設備や運営の基準を定める条  
例を制定しました。

**質問** 保育料はどのようになるのか。

**答弁** 現在と大きな変わりは  
ないと聞いている。

**質問** 児童館について、小学  
校6年生までが対象となるが、  
本町の今後の対応は。

**答弁** 子ども・子育て会議に  
おいて、小学校6年生まで受  
け入れるということ協賛さ  
れたところである。

**反対討論** 子ども・子育て支  
援新制度は、子どもの権利保  
障という点からも多くの問題  
があり、見直すべき点がある  
ことから反対する。  
川村 よし子

## 議長交際費に 関する要綱を制定

各種団体等との議長の交際  
に要する経費を必要に応じて  
支出しています。これまでそ  
の内容は公表していませんで  
したが、議会の透明性と説明  
責任を果たすため、今後毎月、  
町ホームページで公表します。

# 障害者相談支援員を

## 2人増員

### 補正予算

補正予算は、一般会計、4  
特別会計、水道・下水道事業  
会計で計上され、一般会計は  
約2億3828万円を追加し、  
約95億3378万円となりま  
した。

主な内容は次の通りです。

#### 主な歳入

▽緊急雇用創出事業費補助金  
315万円

▽生活再建住宅支援事業補  
助金  
850万円



安全に整備されている矢幅駅エスカレーター

▽ふたたび被爆者をつくらな  
いために原子爆弾被爆者に  
対する援護に関する法律改  
正を求める請願

▽私学教育を充実・発展させ  
るための請願

▽集団的自衛権行使を容認す  
る「閣議決定」の撤回を求  
める意見書に関する請願

# みなさんからの請願・陳情

請願者 岩手県原爆被害者  
団体協議会  
会長 伊藤 宣夫さん  
紹介議員 川村 よし子

請願者 私学助成をすすめる  
岩手の会  
会長 新妻 二男さん  
紹介議員 昆 秀一

請願者 矢巾九条の会  
共同代表 伊東 宗行さん  
佐藤 征克さん  
紹介議員 藤原 梅昭  
川村 農夫

全員賛成

全員賛成

賛成13・反対4

### 採択

### 採択

### 採択

#### 審査意見

核兵器を拡散してはならな  
いことは言うまでもない。  
また、広島、長崎における  
原子爆弾の被害を受けた方々  
の苦しみは計り知れないもの  
がある。  
国は核兵器による被害の根  
絶とあわせ、被爆者に対する  
補償に努めるべきである。

近年、公立学校と私立学校  
の格差は改善傾向にあるもの  
の、保護者の負担はまだまだ大  
きな差がある。経済負担が原  
因で退学に至る事例も危惧さ  
れている。  
教育の機会均等、地域の振  
興を保つ見地から、私学助成  
の増額に配慮すべきである。

集団的自衛権行使に関して  
は賛否さまざまな意見がある。  
国際的な日本の立場を考える  
上でも「閣議決定」で行使容  
認するのは拙速すぎる。  
国民の議論が出つくしてい  
ないと感じられることから、  
民主主義の原則に基づいた慎  
重な審議を求める。

### 主な歳出

▽障害者相談支援事業所サ  
ポート事業委託料  
315万円

▽河川改良事業  
317万円

▽矢幅駅東西自由通路等維持  
管理事業  
106万円

### 【主な質疑】

**質問** 障害者相談支援事業所  
サポート事業の委託先と委託  
する人数は。

**答弁** 新生会以外の法人に2  
人ほどお願いする。

**質問** 河川改修の内容は。

**答弁** 西徳田1区の土水路の  
改修である。

**質問** 自由通路の改修内容は。

**答弁** 階段への注意喚起テー  
プの貼り付け、エスカレー  
ターの修理等である。

### 人事案件

#### 教育委員の任命に同意

平成25年5月から教育長を  
務めている越秀敏さんの任命  
に同意しました。



越 秀敏さん (再)  
(広宮沢1区)

#### 固定資産評価審査委員

平成14年から5期務めてい  
る畠山光夫さんの選任に同意  
しました。



畠山 光夫さん (再)  
(西徳田1区)

賛成15・反対2

全員賛成

全員賛成

### 採択

### 採択

### 採択

#### 審査意見

消費税率については本年4  
月より8%に引き上げられ、  
来年10月より10%に引き上げ  
られる予定である。さらに税  
率を上げることでは住民の負担  
が増え、消費活動の縮小によ  
る経済の影響も懸念される。  
町民や子育て世代の負担増  
を考えると、増税撤回を国に  
働きかけるべきである。

国の出先機関の統合が進む  
につれ、公共サービスの利便  
性低下につながる。また、中  
心都市に一極集中し、住民生  
活の地域格差が広がる要因と  
もなり得る。  
地域の雇用の場という側面  
も併せ持つことから、国は地  
方の衰退を招くことが無いよ  
う、公務、公共サービスの体  
制強化が望まれる。

東日本大震災の発生から早  
3年半経ち、いまだ復旧が進  
んでいない。  
被災地の復旧・復興は、そ  
こに住み地域を支える人々の  
健康にも大きく関わってくる。  
金銭的な不安を少しでも解  
消させるため、被災者の健康  
維持を費用面でアシストする  
ことが必要である。

▽消費税増税の撤回を求める  
意見書提出を求める請願

▽住民の安全・安心を支える  
公務・公共サービスの体制・  
機能の充実を求める陳情

▽被災者の医療費窓口負担の  
免除継続を求める陳情

請願者 消費税廃止岩手県  
各界連絡会  
代表 藤沢 光一さん  
紹介議員 川村 よし子

陳情者 岩手県国家公務関連  
労働組合共闘会議  
議長 古澤 篤志さん

陳情者 岩手県保険医協会  
会長 南部 淑文さん



一般質問  
町政を問う

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。  
9月会議では9人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

● 谷上 哲 議員……P16

- ①町政課題の中長期計画推進
- ②本町の新地方公会計制度

● 廣田 光男 議員……P18

- ①新農業政策における集落営農のあり方
- ②地域活性化対策とは何か

● 川村 よし子 議員……P20

- ①歴史を感じるまちづくり
- ②農業改革と当町における食育と農業政策
- ③国民健康保険税引き下げ

● 山崎 道夫 議員……P22

- ①脳卒中予防を町民運動として取り組むこと
- ②旧矢巾中跡地の活用

● 齊藤 正範 議員……P24

- ①児童・生徒の教育
- ②具体的な人口減少施策
- ③大雨災害対策

● 村松 信一 議員……P17

- ①平成25年8月9日の豪雨対策
- ②児童生徒の安全に関する取り組み
- ③森山パストラルパーク多目的公園構想
- ④新農政における多面的機能活動

● 昆 秀一 議員……P19

- ①ろう者の生活しやすい町に
- ②視覚障がい者への理解と同行援護の利用促進で支援を
- ③第4期障がい者プランおよび障害福祉計画策定

● 小川 文子 議員……P21

- ①子どもの医療費助成小学校卒業までに
- ②障がい者福祉の取り組み

● 藤原 梅昭 議員……P23

- ①災害に強い安全・安心な町づくりを
- ②東日本大震災後の支援・対応は
- ③少子高齢化社会への取り組み

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。

各議案の採決状況

平成26年定例会7月会議

議案番号	提出議案名	議員名														採決結果				
		齊藤正範	藤原由巳	村松信一	山崎道夫	川村農夫	小川文子	谷上哲	廣田光男	秋篠忠夫	芦生健勝	昆秀一	村松輝夫	藤原梅昭	川村よし子		米倉清志	高橋七郎	長谷川和男	藤原義一
議案38号	町道南昌山線道路災害復旧工事請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成26年定例会9月会議

議案39号	教育委員会の委員の任命に関する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案40号	矢巾町固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案41号	矢巾町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案42号	矢巾町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案43号	矢巾町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案44号	矢巾町屋外運動場照明施設設置及び管理に関する条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案45号	矢巾町屋外運動場設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案46号	矢巾町社会教育委員の定数及び任期に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案47号	矢巾町コミュニティ施設に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案48号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案49号	矢巾町町営住宅等条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案50号	平成26年度矢巾町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案51号	平成26年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案52号	平成26年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案53号	平成26年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案54号	平成26年度矢巾町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案55号	平成26年度矢巾町水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案56号	平成26年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案57号	平成25年度矢巾町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案58号	平成25年度矢巾町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案59号	平成25年度矢巾町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案60号	平成25年度矢巾町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案61号	平成25年度矢巾町矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案62号	平成25年度矢巾町水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案63号	平成25年度矢巾町下水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案64号	平成25年度矢巾町水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案6号	矢巾町議会議長交際費の支出及び公表に関する要綱の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案7号	現行法（原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律）の改正を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案8号	私学教育を充実・発展させるための意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案9号	集団的自衛権の行使を容認する閣議決定の撤回と関係法律の「改正」をしないことを求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案10号	消費税10%増税の中止を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案11号	住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案12号	被災者の医療費窓口負担の免除継続を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○=原案に賛成 ●=原案に反対

注：藤原義一議長は採決に加わらない。

議会で決めたこと





むらまつ のぶかつ 村松 信一 議員

# 矢巾温泉郷の防災計画は 地元自主防災組織を含め協議



昨年の豪雨により被災した矢巾温泉郷

**質問** 保養センターをはじめ矢巾温泉郷の災害時の避難誘導など地域防災計画はあるか。  
**町長** 矢巾温泉郷や周辺施設の自主防災組織対応の協議を進める必要があると考える。

**質問** 矢巾町「いじめ防止基本方針」の内容、および取り組み状況について問う。  
**教育委員長** 子どもを被害者にも被害者にも傍観者にもしない考え方を基本とした取り組みを行っている。

**質問** いじめの未然防止・早期発見と実態把握のためアンケート調査を実施しているか。  
**教育委員長** 学期末の教育相談や、アンケート調査を実施している。

## いじめ防止の 取り組みは 早期発見で対応

過したが相談・苦情で未解決のものはあるか。  
**町長** 発災当初から各種迅速な対応を行い、現在は無い状況である。  
**質問** 町管理河川で、昨年の洪水の状況判断から今後改修の必要河川はどこか。  
**町長** 向田川上流部の改修に向け、現在測量設計を進めている。

およびソーシャルワーカーの配置状況は。  
**教育委員長** ソーシャルワーカーは配置していないが、スクールカウンセラーは全中学校と煙山小・矢巾東小学校に配置しており、徳田小・不動小学校については年間6日間配置している。  
**質問** インターネットを通じて行われる、いじめの実態について問う。  
**教育委員長** 昨年は2件発生したが早期に発見、対応し解決している。



やがみ さとし 谷上 哲 議員

# 次期総合計画で総合体育館を 検討課題として捉えている

**質問** 次期矢巾町総合計画策定に向けて、主な屋内スポーツの公式競技が可能な観客席を備えた、本格的な総合体育館の建設を長期的な重点施策として計画してはどうか。  
**町長** 新たな総合体育館の建設は考えてなく「紫波町・矢巾町における公の施設の使用に関する協定書」に基づき不足分を補充していく。



総合体育館でのドッジボール大会

**質問** 次期総合計画で新時代の産業振興、雇用の創出（特に若者と女性）を着実に推進するためにも、農商工および行政が一体となった全体的な一体組織を行政主導で立ち上げ、着実に中長期への道筋を立てて、まい進することが

肝要ではないか。  
**町長** 農商工関係者からなる目的別のさまざまな組織が、独自あるいは連携しながら関係機関、団体も参画し活動を展開している。  
行政としては最新情報の提供や農商工業者が希望する場

## 本町財政の 将来展望は 安定的経営に努める

合は、研修会および講演会等を行い環境づくりに努め、さらに意欲を喚起する手法については検討の余地があるが、新たな組織編成は今のところ想定していない。  
**質問** 新地方公会計制度に基づいた本町の財政状況は中長期的な観点から、安定的な運営がなされるか問う。  
**町長** 今後の財政状況については、人口減少や高齢人口の増加に伴う課題、国内や地域の経済状況などで変化する状況である。  
このような状況下でも、今後必要とされる各種事業の推進を図りつつ、町の活性化と自主財源の確保に結びつく必要な投資を行いながら、安定的な町財政の経営に努める。

一般質問 町政を問う

一般質問 町政を問う



こん しゅういち 議員 昆 秀一

# 手話のより一層の普及を 手話通訳者の育成を図る



手話で歌を披露するメンバー（手話教室受講者とジュニアボランティア探検隊）

**質問** 手話のより一層の普及を図るための必要性をどう考えるか。  
**町長** 手話奉仕員養成研修をはじめさまざまな機会を捉えて、手話通訳者養成を図り手話の普及に努める。

**質問** 大切なことなので今以上に障がい者理解に対しての授業を増やしていただきたい。  
**教育委員** 教育課程をこなすのがいっばいであり、今以上に障がい者学習を増やすことはできない。

**質問** 学校でも定期的に障がい者体験を行うことはどうか。  
**教育委員** 現在小学4年が取り組んでいる。体験により障がい者への理解を深めることは大切なことと考えている。

## 学校でも障がい者体験を 小学4年で 取り組んでいる

**質問** 手話言語法の制定に対しての町の所見を問う。  
**町長** 今後、手話言語法の制定について早期に制定されるよう国に対し、県や町村会を通して要望していく。

## 第4期障がい 福祉計画策定は 意見集約したうえ 計画策定する

**質問** 平成27年度から29年度までの第4期障がい者プランおよび障がい福祉計画の策定期程はどうか。  
**町長** 10月開催予定の町障害者自立支援協議会でアンケート調査結果の報告を行い、協議し来年1月に最終案をまとめパブリックコメント実施後、意見を集約したうえで計画を策定する予定である。

**質問** 発達障がいに対しての支援の取り組みはどうか。  
**町長** 発達障がいについての取り組みはしていないが、発達障がい児をサポートする従事者を対象とした研修会の開催を予定している。町民を対象とした研修会等必要とされる支援は、第4期計画に反映するように検討していく。

# 新農政なぜ法人化か 土地利用のための最低要件



集積した農地で作付けしているソバ（上矢次営農組合）

**質問** 新農業政策において任意組合を地域集積協力金目的のために法人化することに反対である。  
今、なぜ任意組合を法人化するのか。  
**町長** 農地中間管理機構は第三者の土地を利用するため責

任を持つて管理・運営しなければならぬことから、法律上の人格を持つことが最低限必要な要件である。  
**質問** 地域集積協力金の内容と受給条件は何か。  
**町長** 担い手のうち任意組合は法人化することで受給条件を満たすことになる。管理権を取得し地域内農地の一定の農地を集積したものに1回限り10ア当たり最高3万8000円を支払うもので、地域集積協力金の使途は各担い手の自由である。

## 西部地区の 活性化を 市街化調整区域の 見直しは困難

**質問** 現在も農地がある程度集約できているが、なぜ地域集積協力金をもらうため、改めて各組合員が利用権を農地中間管理機構に出さなければならぬのか。  
**町長** 岩手県では担い手への農地の集積目標を8割としており。できるだけまとまりのある形で農地を利用していただきたいと考えている。

**質問** 地域の活性化を促すため用途変更指定する考えはないか。  
**町長** 土地の有効開発と均衡ある発展をするために法規制があり、市街化調整区域の見直しは困難である。

しかし、流通センター地区を都市開発としての用途変更指定することは、活性化を図ることも視野に地区内の要望があれば、用途地域の変更指定することも検討していく。

一般質問 町政を問う

一般質問 町政を問う



おがわ ふみこ 議員  
小川 文子 議員

# 医療費助成小学生までに アンケートを受けて検討する



診察を受ける親子（川久保病院）

**質問** 県内の子どもの医療費助成の拡大が進む中、本町は乳幼児までであり、小学校卒業まで無料にできないか。  
**町長** 本町では乳幼児医療費助成の所得制限を撤廃するとともに、町村会等を通じ国に医療費助成を要望している。

## 子どもの啓発が大切

**質問** 障がいのある人も無い人も共に認め合い、安心して暮らせる地域をめざすノーマライゼーションの考えを、一層進めることが大切である。障害者への支援とノーマ

## ノーマライゼーションの普及を

**質問** 子育て世帯の貧困率が高いが、町内の状況は。  
**町長** 町内の貧困率統計はないが、子育て世帯の生活は大変だと推察する。

**質問** 小学校卒業まで無料にしたら経費はどのくらいか。  
**町長** 年間約7300万円かかる。

また、子ども子育て支援のアンケート結果を受けて、医療費助成制度の内容の検討を進めていく。

## イゼーションの普及は。

**町長** 利用に係る介護給付のほか、相談支援事業所を交えた支援会議を開催している。施設整備については、県の補助メニューが活用できるような情報提供を行っている。ノーマライゼーションの普及には、子どものところからの普及啓発が大切であり、小学生のキャップハンディ体験や、ジュニアボランティア探検隊事業を実施している。

**質問** 18歳になると重症心身障がい児の施設入所が厳しくなることをどう考えるか。  
**町長** 受け皿となる施設が少なく、サービスを利用できない状態となっているが、関係機関と継続して協議を行う。

**質問** 学校教育では、ノーマライゼーションについてのどのような計画があるか。  
**教育委員長** 各学校の特別支援学級の児童生徒は通常学級の学習に参加し、お互いを認め合い共に学習していく体制を作っている。



かわむら 議員  
川村 よし子 議員

# 歴史を感じる町づくりを 後世に伝える工夫をしていく

**質問** 矢幅駅周辺にあった徳田倉庫をはじめとした米倉庫群の歴史を、後世に伝える工夫が必要ではないか。  
**町長** 「徳田米」を収容する県内一の倉庫として徳田倉庫があったが、町の発展の礎を築いてきた場所で後世に伝えていくことは必要である。矢幅駅西口に柱を利用したモニュメントを設置し、内部は3DCGデータとして記録保存している。  
今後は矢幅駅の展示スペースや歴史民俗資料館等において、写真展など後世に伝える工夫を考えている。



徳田倉庫の柱を利用したモニュメント（矢幅駅西口）

い方々に伝えることも必要ではないか。  
**町長** 昭和60年に記録された町史を全戸配布しており、町公民館にも配置している。  
**質問** 徳田地域には、史跡徳丹城のほか、北上川船場が

あったが後世に伝える考えは。  
**町長** 史跡および名勝巡り事業や、子どもたちを対象にした歴史探検事業などに取り組みでいく。  
また船場の説明板は、河川法との関係もあるので難しい。

## 学校給食で食と農のつながりを 町産農産物で郷土食を提供

**質問** TPP交渉参加や減反政策の廃止など大幅な農業構造改革が行われている。食と農のつながりを教育でできる学校給食の和食数を増やし、地元農産物の割合を増やしてはどうか。  
**教育委員長** 和食では町内の旬の農作物を取り入れ郷土食等を提供している。週1回は県産小麦を使用したパンや麺類を提供している。

**質問** 共同調理場開設時には、地産地消率60%以上(重量ベース)だったが、今の目標値はどうか。目標値を引き上げるべきではないか。  
**教育委員長** 冬場は野菜等が不足するので地産地消率目標を57%にしているが、現状では引き上げるのは難しい。

一般質問 町政を問う

一般質問 町政を問う



ふじわら うめあき 藤原 梅昭 議員

# 安全・安心な町づくりを 主な被災箇所は概ね完了



町防災訓練における土のう積み体験

**質問** 昨年の大雨災害による未復旧箇所の復旧計画は。

**町長** 山王茶屋前橋は、年内を目途に、南昌山線は来年の秋頃をめどに復旧工事を進めている。

岩崎川橋は県の河川改修事業で、今年度末から工事に着

## 今後も継続支援

## 大震災その後の支援状況

**質問** 本町へ避難されている方々への受け入れ状況は。

**町長** 避難されている方は、57世帯120人、保健師等が全戸訪問し、健康状態・生活状況を把握し支援を実施中。

**質問** 自主防災組織の対応状況は。

**町長** 組織の設立状況は32組織となっており、8月19日には自主防災会連絡協議会を設立したが、今後に期待する。

国民保養センターは年内の営業再開に取り組んでいる。

手し27年度末に完成予定。煙山ダムの浸漬は来年の3月まで繰り越し進めている。マレットゴルフ場・水辺の里は、新たな場所に設置するかどうか検討中。

**質問** シイタケ農家への支援状況は。

**町長** 首都圏での販売会等にて支援を行っている。

**質問** 再生可能エネルギーの推進状況は。

**町長** 家庭用太陽光発電システムに対し本町独自の補助を実施し、26年度は14件へ66万円となっている。

平成23年度から25年度までの導入実績件数は124件で、補助額は739万円となっている。

公共施設への太陽光発電設備は、26年度は3カ所への設置を推進しており、27年度までに10施設へ導入する計画で、追加導入も要望している。また、民間のメガソーラー事業は、3月から稼働しており、もう1基設置予定である。



やまざき みちお 山崎 道夫 議員

# 脳卒中予防で健康寿命延伸を 有効性高める方法を検討中

**質問** 岩手県は脳卒中死亡率全国ワーストワンを受け、脳卒中予防県民会議を設立し、新たな運動を展開すると決議したが、本町の年間における脳卒中の罹患者数と主な死因の死亡率と順位を示されたい。

**町長** 脳卒中の罹患者数は、74歳未満では141件、75歳以上では242件となっている。

主な死因別死亡率は、がん27・2%、心疾患18%、脳血管疾患14・3%である。



塩分濃度の測定をする栄養講習会（太田行政区）

上に力を入れ、町民が主体的に健康づくりを実践できる取り組みを推進していく。

**質問** 健康長寿の長野県方式を学び、減塩運動などインパクトのある取り組みを提唱し、町民運動として取り組んでは。

**町長** 健康教室の中で、減塩の重要性と方法について学ぶ機会を全行政区対象に取り組んでいる。

新たに塩分コントロールができる有効な方法に、取り組んでいくための事業を検討している。

## 矢巾中跡地に 体育館の建設を

## 活用方法は 慎重に検討

**質問** 矢巾中の跡地利活用について、今年3月議会において請願2件を趣旨採択としたが、岩手医大に看護学部が創設される動きの中で、龍澤学館による医療系専門学校の開設は厳しいと思われる。

したがって、町民が主体的に利用できる屋内体育館や災害時に避難場所としても活用できる多目的広場等の社会教育施設の建設を計画し、実現するよう強く求める。

**町長** 活用方法については、今後さらに時間をかけて慎重に検討していく考えであるが、龍澤学館に対しては、議会の決定を受け、町の考え方を報告し、理解をいただいている。なお、グラウンドについては、町民が主体的に活用できる施設として活用していく。

**質問** 被災地支援計画は。

**町長** 26年度は大槌町へ2名の職員派遣をしており、今後とも継続していく。

被災者健康応援交流事業を社会福祉協議会へ委託し支援。

# 3年連続 津波被災地へ

町政調査会  
視察研修報告 in 山田町



水揚げされたばかりのイナダ (山田魚市場)

**研修目的**  
ガレキの撤去が終わり一歩一歩復興に向け歩み出している中で、抱えている問題点や課題、さらには復興に対する意識などについて把握し、防災に対する取り組みの重要性や今後の後方支援のあり方について再認識することを目的に実施した。

**調査報告**  
応急仮設住宅は町内43カ所に1940戸が建設され、平成26年7月31日現在の入居戸数は1736戸で、3770人が入居している。私達が訪問した関谷担い手仮設団地では、80戸178人で自治会を結成し、運営要領を定め、防災防犯部・環境衛生部・文化

**後方支援のあり方再認識**  
2011年3月11日の震災から3年半過ぎたが、一昨年は大槌町へ、昨年は田野畑村と宮古市へ、そして今年は8月25日に議会町政調査会で山田町を視察研修してきた。



盛土が始まった市街地 (山田町役場屋上より)

娯楽部などの活動が活発に行われていた。  
命の安心安全防災訓練(6回実施)や消火訓練、復興元氣回復懇親の集いなどを実施し、会報を月1回ペースで発行するなど、居住環境が大変厳しい中で元気に明るく「新しいふるさと創り」を目指し「心の復興」を合言葉に、団

結して奮闘されている姿を目の当たりにし、大変感銘を受けた。  
常に前向きに復興に取り組んでいる姿から、今後、私たち矢中町民が後方支援を行うに当たって、継続して現地に足を運ぶことが力になることを再認識することができた視察研修であった。

## 中1ギャップの事象はあるか 中1の不登校生はいない



さいとうまさのり 齊藤 正範 議員



仲間とともに楽しい学校生活を送る中学1年生 (矢巾中学校)

**質問** 中学1年の生徒が学校での新しい環境になじめず「中1ギャップ」と称される事象が発生し、最悪は不登校につながる恐れがあると言われているがその取り組みは。  
**教育委員長** 小・中連携推進会議を年4回開催し、中学校

と小学校の情報交換や中学校1日体験入学などを実施することにより、解消を図っており、1年生の不登校の生徒はほとんどいない状況である。

**質問** 「小中一貫教育学校」は、柔軟に学年を区切り、小学高学年で中学校の内容を先取りで学べるなどの利点があるが、どのように考えるか。  
**教育長** 同一校舎で学校生活を送ることにより、さまざまな課題を克服できることや、小学校で中学の英語を教えるなどのメリットはあるが、制度の変更を伴うことから、今後の動向を見守っていく。

**交流人口の定住化策は**  
**質問** 子どもの保育料・医療費などを現状よりも軽減し、若者の定住を増やす考えはないか。  
**町長** 保育料については、保護者負担の公平性を見極めながら、長期的に軽減措置ができるよう努力する。医療費は子ども・子育て会議などの結果を受け検討していく。  
**質問** これからの医大附属病院などの施設開設に伴う、交流人口増加が見込まれる中、交流人口から定住化につながる具体策を考えているか。  
**町長** 商工会などと連携し一定期間、岩手医科大学をはじめとする学生などの定住化にも対応すべく、アパートやマンションの新築を推進するとともに、市街地整備に伴い飲食店などを含む商業施設を確保し、定住化と雇用の創出につながるよう取り組んでいく。

**学生などの定住にも対応**  
**質問** 当町の人口減少に対する施策を問う。  
**町長** 雇用の受け皿となる企業誘致と就職情報提供の充実を推進する。

**質問** 若者の流出を抑える施策は。  
**町長** 雇用の受け皿となる企業誘致と就職情報提供の充実を推進する。

# 私もひとこと!

## 議会改革特別委員会 視察研修報告

長野県 軽井沢町議会・大町市議会

先進地で大いに学ぶ

### 住民目線で行政の監視と政策提言を

町民により信頼される議会を目指し研究を重ね、通年議会の導入や議会報告会の実施など、鋭意取り組んできたが、さらなる議会改革を進めるため、7月7日・8日に先進地の長野県軽井沢町議会と大町市議会を研修視察し、多くのことを学んできた。

#### 「研修で学んだ重点項目」 軽井沢町議会

- ① 通年議会実施要領
- ② 町長の専決事項の指定
- ③ 議会基本条例制定に向けた取り組み
- ④ 議会報告会のあり方
- ⑤ 会派制と政務活動費

#### 大町市議会

- ① 事務事業の評価を議会が行うことによる成果
- ② 総合計画などの議決事項の扱い
- ③ 市民との意見交換会

- ④ インターネットとケーブルテレビによる議会中継
- ⑤ 一般質問のあり方・質問時間の確保等

以上について、重点的に学んできたが、両議会とも議長を中心に議会改革に積極的に取り組み、常に目線が町民・市民に向けられ、行政の監視と政策提言を怠らない姿勢を強く感じた。

また、両議会とも共通しているのは、議長退任後も、副議長や議会運営委員長、議会改革特別委員長等に就任し、議会改革の先頭に立って奮闘していることが、特筆すべきことであった。

今後、研修視察で学んだ点を活かし、議論を重ねながら議会改革に向け、さらに取り組んでいくことを決意している。

地元議員の質問ということで傍聴いたしました。質問事項については、内容をかなり調査し、現状を分析した上でないと、質問にならないと思いますので、大変に頑張っていると思います。

答弁者は、通知された内容に対して、正確に、そして今後どうするのか、責任の重い答弁になる訳ですから、緊張感のある答弁でした。

#### 緊張感のあるやりとり

白澤 久男さん（桜屋行政区）

今矢巾町は、他の市町村に比較して、発展している町、そして、将来が明るい町だと私は思っております。しかし、最近では過去に経験したことのない大きな災害が、全国的に多く発生しております。将来の災害危険の予知と被災したときの備えが必要と思っております。



議会を傍聴する筆者

#### みなさんも 議会を傍聴しませんか

次の定例会議は12月です。  
どうぞお気軽にお越しください。  
詳しくは議会事務局まで。  
(電話 019-611-2801)

#### “町民と議会との懇談会”開催のお知らせ

議会の説明責任を果たすとともに、町民の意見や提言などを取りまとめ、町の発展と議会の活性化を図るため、町民と議会との懇談会を開催します。

どなたでも参加できますので、皆様お誘い合わせのうえおいでください。

- 日時 11月27日(木) 午後6時30分～  
場所 矢巾町公民館3階 大研修室  
内容 1. 議会からの報告  
2. 質疑  
3. 意見・提言



活発な意見が出された前回の懇談会



軽井沢町議会での視察研修

議会からのお知らせ

議会からのお知らせ



おいしいお米と町の平和を守るタケルンジャー

### 矢巾町のご当地ヒーロー

## ひやくまいごうりき 百米合力・タケルンジャー

# お米の底力を知ってほしい

矢巾町のみなさん、こんにちは！  
4月は徳丹城春まつり、7月は町内保育園3カ所でのヒーローショー。小さいお友達と楽しく踊りました。夏まつりでは不來方高校吹奏楽部のみなさんが主題歌を演奏、共演させていただきました。9月は東京、東北復興イベントで矢巾米をPR！そして、10月の秋まつりでは、グレードアップしたショーを予定しています。みなさんの声援でパワーアップしますので、応援よろしくお願いします。  
10月19日、町体育館でお会いしましょう！  
お米の底力をたくさんの人に知ってほしい！GO！GO！百米GO！百米合力・タケルンジャー！！

お米博士こと煙山博士が開発したこのボディースーツは、炊飯器がモチーフ。胸には3本の矢の印・矢巾町章が光り、胸と足には米の文字。矢巾町産のおいしいお米はもちろん、シイタケやリンゴ、特産品のPR、よい子への食育活動のお手伝い、おいしいお米と町の平和を守るため、コメ虫、カメ虫と戦っています！  
今年1月、3月は映像製作で、役場やショッピンゲモールアルコ、岩手医大矢巾キャンパスで撮影。町民劇場のみなさん、不來方高校のみなさん、地元たくさんの方々のご出演、ご協力をいただきました。（感謝！）

## あ と が き

総務常任委員会や他の研修で障がい者施設にお邪魔する機会がありました。町内には障がい者支援施設が多数あり、たくさんの方が利用されていますが、高齢者介護施設に比べて足りないのが現状です。誰でも事故や病気などで障がいを持つ可能性があり、まず、自分や自分の大切な人が障がいを持ったことを想像してみてください。そこから、矢巾町がどんな町になってほしいかを考えるきっかけにしたいと思います。

編集委員 昆 秀一

### 発行・編集責任者

議長 藤原 義一

### 編集委員

- 委員長 山崎 道夫
- 副委員長 小川 文子
- 委員 齊藤 正範
- 委員 昆 秀一
- 委員 藤原 梅昭